



としょかんだより

令和5年6月23日 女池小学校図書館 R5.No. 3

「何を読めばいいのかわからない」「面白い本がない」という声を時々聞きます。そんなときは、図書館内でおすすめの本として並んでいる、さまざまなテーマ棚の本を読んだり、皆さんに貸し出されている iPad から女池小学校図書館の探検をしてみませんか。L-Gate を開いて、教材・アプリをタップします。ずっと下の方までスクロールしていくと『図書館』という項目が出てきます。そこは女池小学校図書館の入口。タップして入っていくと、本を探したり、新しく入った本や貸し出しランキングを見ることができます。本棚に並んでいる本たちは、みなさんが手に取ってくれるのを待っています。ぜひ活用して、いろいろな本に出会ってほしいなと思います。

また、図書館の新聞閲覧台には、新聞販売店のご好意でいただいている新潟日報と月替わりで朝日新聞、産経新聞、毎日新聞、読売新聞を置いています。昨年度と同じように今年度も、「まいにちらむらむ」や、その日の記事に関連した本と一緒に並べています。『開いたページから知識の寄り道ができる百科事典』と同じように新聞もまた、開いた紙面のさまざまな記事から、自分が興味を持ったものを、選び読むことができ、それを発展し、自分の世界を広げていくことができます。みなさんが本を選ぶ参考になればいいなと思っています。

かだいとしょ はい
課題図書が入りました！

第52回新潟県課題図書読書感想文コンクールの課題図書が入りました。感想文を書かなくても借りられますので、ぜひ手に取って読んでみてください。



1年生、2年生、中学年、高学年と分かれている課題図書は、『あたらしい本』のコーナーに並べましたが、すでに全部貸し出されてしまいました。

今年度のキャッチフレーズ「豊かな出会い、広がる楽しさ、深まる心」のように、みなさんが、本との出会いを楽しんでもらえたらうれしいです。

感想文を書くために読もうとすると、「ここについて書こう」とか「作者が伝えたいのはこのことかな」とか、考えて読んでしまいがちです。まずは、気になった本を読み通してみましょう。楽しんで読むことが一番です。そして、読んでいるうちに自分が思ったことを誰かに伝えたい、言葉にしたいと思ったら、書き留めてみましょう。

あなたが感じたこと、思ったことはあなたのなかに生まれたものです。思っていることを文字にすることは、自分の考えを深く知ることにともなうと思います。本を読んで感じたこと、伝えたいことがまとまったら、コンクールに応募してみませんか？応募用紙は担任の先生にお話ししてもらってください。参加は無料で、応募者全員に参加賞が贈られます。

そして、新潟県課題図書読書感想文コンクールは今年度が最後となります。

【第52回新潟県課題図書読書感想文コンクール課題図書の紹介】

- 《1年生》 「しってるよ」(えほん 赤し) <たかだしんいち/作 文研出版>
「はなになりました」(えほん 赤は) <内田麟太郎/文 童心社>
- 《2年生》 「しんぱいなことがあります！」(913く) <工藤純子/作 吉田尚令/絵 金の星社>
「ごめんねゆきのバス」(えほん 赤こ) <むらかみさおり/作 文溪堂>
- 《中学年》 「一撃をねえ！」(913あ) <あさだりん/作 酒井以/絵 金の星社>
「じいちゃんの島は宝島」(913う) <漆原智良/作 やまなかももこ/絵 フレーベル館>
「ももちゃんのピアノ」(210し) <柴田昌平/文 阿部結/絵 ポプラ社>
- 《高学年》 「金曜日のヤマアラシ」(913た) <藤内明子/作 中田いくみ アリス館>
「ちいさな宇宙の扉のまえで」(続・糸子の体重計)(913い) <いとみく/作 佐藤真紀子/絵 童心社> ☆昨年度購入済の本です。
「ノーサイド」(勝敗の先にあるもの)(916む) <村上晃一/著 あかね書房>

※ 応募は一人一点で学校を通して提出します。校内締切は令和5年7月19日(水)となっていますので、担任の先生に提出してください。

